

入塾試験問題 **例**

小 3 **sirius**

国 語

3 5 分

1 次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい

夏休みが始まって一週間。五年一組の飼育委員である拓海は、学校のウサギ小屋の前に立っていた。

小屋の中には、真っ白な毛並みが自慢の「シロ」がいる。しかし、今日のシロは、いつもなら真っ先にかけよってくるはずなのに、小屋の隅で丸まったまま動こうとしない。

「どうしたんだよ、シロ。大好きなニンジンだぞ。」

拓海が声をかけても、シロは耳をピクリと動かすだけで、エサの器には目もくれない。拓海の胸に、冷たい不安が広がった。

①「ぼくの世話の仕方が悪かったのかな。」

昨日はそうじを少し急いでしまった。水を取り替えるとき、シロを驚かせてしまったかもしれない。拓海は、一週間前の飼育当番の引き継ぎで、先生が言っていた「ウサギはとてもデリケートな生き物です」という言葉を思い出し、②後悔で胸がいつぱいになった。

そのとき、「拓海くん、どうしたの？」と声をかけてきたのは、同じ飼育委員の陽菜だった。

「シロが、何も食べてくれないんだ。ぼく、何か失敗したのかもいけない。」拓海がうつむいて答えると、陽菜は小屋の中をじっと観察して、優しく笑った。

「大丈夫だよ。見て、シロは病気がやないわ。ただ、この暑さで少しつかれちゃっただけだと思う。③ほら、地面にずっとおなかをつけているでしょ。」陽菜はそう言うと、持ってきたバケツから濡れたタオルを取り出し、小屋の屋根に広げた。さらに、用意していた大きな氷のかたまりを、小屋の隅に置いた。

「こうして冷やしてあげれば、きっと元気になるよ。」

しばらくすると、涼しい風が小屋の中に流れ始めた。すると、あんなに元気がなかったシロが、ゆっくりと顔を上げ、鼻を **1** させ始めた。そして、拓海の手にあるニンジンを、 **2** と食べ始めたのだ。

「よかった……！」

拓海は、心の底からホツとして、大きく息を吐き出した。さつきまで重苦しかった拓海の心は、④まるで雲が晴れたような明るい気持ちに変わっていた。「ありがとう、陽菜ちゃん。これからはもっと、シロの気持ちや周りの環境をよく考えるようにするよ。」

拓海は、元気に動きまわるシロを眺めながら、明日からの飼育当番がもっと楽しみになった。

問一 「シロ」はふだん、どのような様子で拓海のところに来ますか。十一
文字で本文に書かれているそのままの形で答えなさい。

問二 ——線①「ぼくの世話の仕方が悪かったのかな」とありますが、このとき拓海はどのような気持ちですか。次から一つ選びなさい。

- ア シロがわがままを言っていることに、腹を立てている。
- イ 自分の行動を振り返り、悪かったと申し訳なく思っている。
- ウ 飼育当番を陽菜に代わってほしいと願っている。
- エ シロが病気ではないかと、途方にくれている。

問三 拓海が ——線②「後悔で胸がいつぱいになった」のはなぜですか。その理由としてふさわしいものを次から一つ選びなさい。

- ア そうじを急いだり、シロを驚かせたりしたかもしれないから。
- イ 夏休みなのに学校に来て、そうじをしなければならぬから。
- ウ ニンジンを家に忘れてきて、シロにエサをあげられなかったから。
- エ 先生に、ウサギはデリケートな生き物だと言われたから。

問四 ——線③「ほら、地面にずっとおなかをつけているでしょ」という陽菜の言葉から、シロの元気がない本当の理由は何だとわかりますか。二文字で本文に書かれているそのままの形で答えなさい。

問五 陽菜がシロのためにしたことは何ですか。次の中から二つ選びなさい。

- ア シロの小屋に、涼しい風を運んだ。
- イ 小屋の屋根に濡れたタオルを広げた。
- ウ シロにニンジンをたくさんあげた。
- エ 小屋の隅に大きな氷のかたまりを置いた。

問六 線④「まるで雲が晴れたような」とありますが、このときの拓海の気持ちを説明したものととして、ふさわしいものを一つ選びなさい。

- ア 空に浮かんでいた雲がいなくなり、暑いと感じている。
- イ 不安な気持ちが消えて、スッキリと明るい気持ちになっている。
- ウ 陽菜にほめられて、はずかしい気持ちになっている。
- エ シロの毛が真っ白で、まぶしいと感じている。

問七 1 と 2 に入れるのにふさわしい言葉を、次から一つずつ選びなさい。

- | | | | | | |
|---|------|---|------|---|------|
| ア | パチパチ | イ | モグモグ | ウ | ズキズキ |
| エ | ヒクヒク | オ | ドンドン | カ | クルクル |

問八 この物語のあとの、拓海の行動や考えとしてふさわしいものを次から一つ選びなさい。

- ア 自分一人では無理なので、明日から飼育当番を休む。
- イ ウサギの気持ちや気温の変化などを、もっと気をつけて世話をする。
- ウ シロが食べすぎないように、あまりエサをあげないようにする。
- エ 暑い日はウサギ小屋に近づかないようにして、涼しくなるのを待つ。

2 次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい

私たちが夜空を見上げるとき、そこには静かな星の世界が広がっているように見えます。しかし、現在、地球のまわりには「スペースデブリ（宇宙ゴミ）」と呼ばれる、人間が作り出したゴミが猛烈なスピードで飛び交っています。

スペースデブリの正体は、使い終わった人工衛星や、打ち上げロケットの破片などです。これらは、時速約二万八千キロメートルという、まるでライフルの弾のように、そしてそれよりも速い速度で地球を周回しています。

1、たとえ数センチメートルの小さな破片であっても、運用中の人工衛星や国際宇宙ステーションに衝突すれば、2な被害をもたらすこととなります。

①この問題の恐ろしいところは、デブリ同士が衝突することで、さらに新しいデブリが生まれてしまう「連鎖反応」にあります。一度衝突が起きると、破片が飛び散り、それが別の衛星に当たり、また新しいゴミが増える……。このままでは、将来、人類は安全にロケットを打ち上げることさえできなくなるかもしれません。

これまで、宇宙は「無限に広い空間」だと考えられてきました。

3、実際には、地球のすぐそばにある「軌道」という場所は、限られた資源のようなものです。海や山を汚してはいけないのと同じように、②宇宙もまた、私たちの手で守らなければならない環境の一部なのです。

現在、世界中の研究者が、巨大な網でデブリを回収したり、強力なレーザーでデブリの軌道を変えたりする技術を開発しています。③「自分たちが捨てたものは、自分たちで片付ける」。この当たり前のルールを、地球上だけでなく宇宙でも守れるかどうか、④これからの人類の課題といえるでしょう。

問一 1 と 3 に入れるのにふさわしい言葉を、次から一つずつ選びなさい。

- ア しかし イ つまり ウ そのため

問二 2に入る、被害の大きさを表すふさわしい言葉を、次から一つ選
びなさい。

- ア 致命的 イ 一時的 ウ 日常的

問三 —— 線① 「この問題の恐ろしいところ」とありますが、どのような点
が恐ろしいのですか。「〜こと。」という形に続くように、三十五字以内
で本文に書かれているそのままの形で答えなさい。

問四 —— 線② 「宇宙もまた、私たちの手で守らなければならない環境の一
部」とありますが、筆者がそのように述べているのはなぜですか。その
理由としてふさわしいものを次から一つ選びなさい。

- ア 宇宙の軌道は、地球上の海や山と同じように限られた資源だから。
イ 宇宙をきれいに掃除すれば、新しい人工衛星を安く作れるから。
ウ 宇宙は「無限に広い空間」だとこれまで考えられてきたから。
エ 世界中の研究者が、宇宙でゴミを拾う技術を開発しているから。

問五 —— 線③ 「自分たちが捨てたものは、自分たちで片付ける」とありま
すが、ここでいう「自分たちが捨てたもの」とは何を指していますか。
本文から七文字で本文に書かれているそのままの形で答えなさい。

問六 宇宙に広がるゴミの速度について、何かにたとえている部分がありま
す。その言葉を六文字で本文に書かれているそのままの形で答えなさい。

問七 宇宙に広がるゴミについて、本文中ではどのようなものだと説明されていきますか。もつともふさわしいものを次から一つ選びなさい。

- ア 宇宙人が捨てていった、正体不明の金属片
- イ 役目を終えた人工衛星や、打ち上げられたロケットの破片
- ウ 宇宙ステーションや人工衛星から出た、さまざまなゴミや不用品
- エ 地球の引力に引かれて、宇宙から降ってきた小さなかたまり

問八 ———線④「これからの人類の課題」について筆者はどのように考えていますか。もつともふさわしいものを次から一つ選びなさい。

- ア より多くのゴミを回収できる、新しいロケットを開発すること。
- イ 宇宙ゴミを回収して、より遠い星へと移住すること。
- ウ 宇宙を無限に広い資源だと考え、その資源を活用し続けること。
- エ 自分たちが出したゴミを、責任を持って片付けるというルールを守ること。

問九 本文の内容と合っているものを、次から一つ選びなさい。

- ア 宇宙は無限に広いので、ゴミが増えても将来のロケット打ち上げに影響はない。
- イ 宇宙に広がるゴミは速度が非常におそいため、衝突しても壊れることはない。
- ウ 宇宙の「軌道」は限られた資源であり、環境として守る必要がある。
- エ 宇宙のゴミを片付けるための技術は、さまざまなやり方ですでに完成している。

小3国語 解答用紙

名前		
----	--	--

2

1

	問九	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一